

無停電電源装置 (UPS)

BV シリーズ

BV100REM

BV100REX

BVM100X

製品番号確認方法

電源出力ロック解除手順書

はじめに

BV100REM / BV100REX（以降 UPS といいます） / BVM100X（以降増設バッテリーユニットといいます）は、電源出力をロックして出荷しており、電源スイッチの操作だけでは起動できない仕様です。

電源出力のロック解除に必要なキーコードは、製品番号^{※1}を元に当社サイトで取得します。

製品番号は、個装箱で目視確認する方法と、UPS 設定ユーティリティで取得する方法があります。

● 目視で確認

個装箱、または UPS 本体の製品番号ラベルで確認します。

📄 「個装箱による製品番号確認」(P.2)

● UPS 設定ユーティリティで確認

Windows OS^{※2}にインストールした UPS 設定ユーティリティで取得します。

📄 「UPS 設定ユーティリティによる製品番号確認」(P.3)

参考

- 目視で確認する場合、個装箱で確認できますので UPS を個装箱から出す必要はありません。
- 設定ユーティリティで確認する場合、UPS 本体と増設バッテリーユニットの製品番号を一度に取得できますので、増設バッテリーユニットを複数台接続している構成におすすめの方法です。

※1 「製品番号」は「製造番号」の改称です。

※2 Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

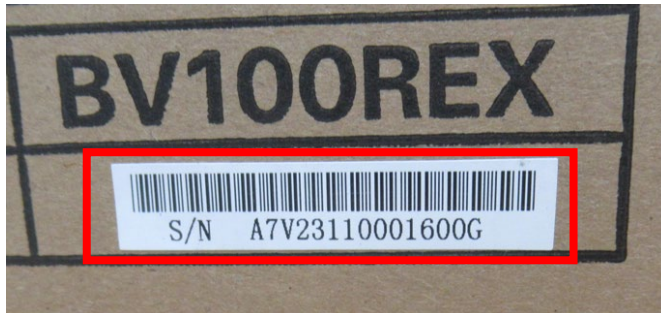
その他、各会社名、各社製品名は各社の商標または登録商標です。

個装箱による製品番号確認

製品番号は 15 桁の英数字（14 桁の英数字+末尾の G）で構成され、個装箱の型式の下のバーコードシールで確認できます。

| モデル名 | 製品番号 |
|----------|-----------|
| BV100REM | A7U*****G |
| BV100REX | A7V*****G |
| BVM100X | A7W*****G |

<個装箱に貼られているバーコードシール>



注意

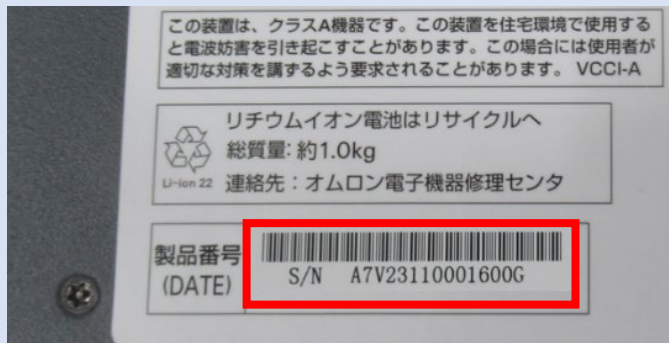
製品番号が異なる（桁足らず、写し間違い等）とキーコードが発行できない、誤ったキーコードが発行される等の可能性がありますので、写真に残すことをお勧めします。

参考

製品番号は個装箱で確認できますので開梱する必要はありません。

既に開梱されて個装箱が無い場合は、製品本体のバーコードシールでも確認できます。

<本体の製品番号ラベル>



以上で個装箱での製品番号確認は完了です。

別紙「[2 キーコード発行手順](#)」をご確認の上、電源出力ロック解除用のキーコードを取得してください。

UPS 設定ユーティリティによる製品番号確認

UPS 設定ユーティリティは Windows OS 上で動作するアプリケーションで、UPS と増設バッテリーユニットの製品番号を一括取得、電源出力ロックを一括解除できます。増設バッテリーユニットを複数台併用する構成では有用な方法です。

<UPS 設定ユーティリティ対応 OS*>UPS

対応状況は、UPS 設定ユーティリティダウンロードページをご覧ください。

<UPS 設定ユーティリティダウンロードサイト>

https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/support/download/soft/upsutility/upsutility_rev2.html

1. UPS を商用電源に接続する

UPS 設定ユーティリティで UPS の情報を取得するため、UPS をスタンバイ状態にします。

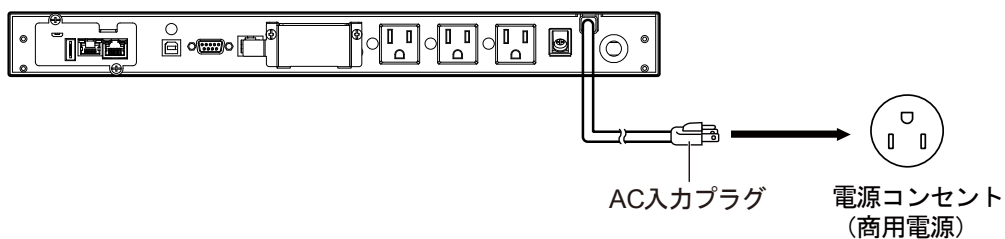
1. UPS を開梱します。
2. UPS の AC 入力プラグを電源コンセント（商用電源）に接続します。

注意



増設バッテリーユニットを併用する場合は、UPS に増設バッテリーユニットを接続した後、商用電源に接続してください。




👉 「増設バッテリーユニットの接続と給電」(P.8)。

例：BV100REM



参考

UPS に電力が供給されると  が点滅（2 秒間隔）、 が点灯します。

| | | |
|---|---|---|
|  |  |  |
|  |  |  |

2. 製品番号を確認する

UPS 設定ユーティリティを使って製品番号を CSV ファイル形式で取得します。本手順では UPS 設定ユーティリティ Ver.5.00 を例に説明します。

1. PC と UPS を UPS 付属の USB ケーブルで接続します。



注意

BV100REM には USB ケーブルが 2 種類同梱されています。コネクタの片側が Type-B（上部写真参照）のケーブルをご使用ください。

2. UPS 設定ユーティリティをダウンロードします。ダウンロードサイトは以下リンクをクリックするか、検索エンジンに検索キーワードを入力しアクセスしてください。

| | |
|---------|-------------------------------|
| リンクアイテム | UPS 設定ユーティリティ |
| 検索キーワード | 「オムロン」「UPS 設定」 |

3. ダウンロードした「UPS_utility_ver500」をダブルクリックして開きます。

| 名前 | 種類 |
|--------------------|----------|
| UPS_utility_ver500 | ファイルフォルダ |

参考

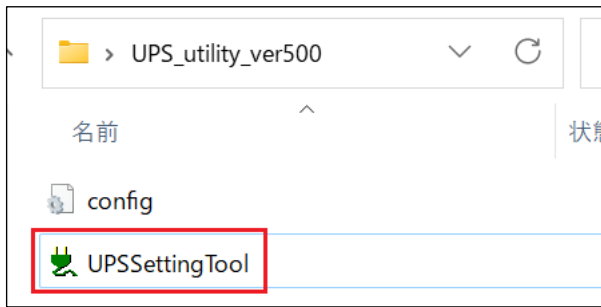
UPS 設定ユーティリティのバージョンについて

電源出力ロック解除機能は UPS 設定ユーティリティ Ver.5.00 で搭載した機能です。

Ver.5.00 未満（Ver.4.xx 等）は対応しておりませんので、必ず Ver.5.00 以降をご使用ください。

👉 2024/5 現在の最新版は Ver.5.00 です。

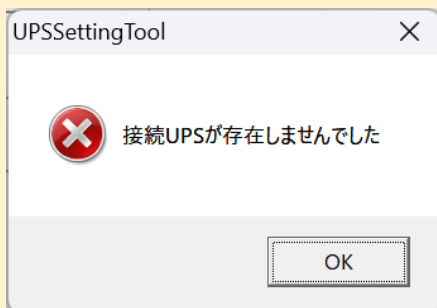
4. UPSSetting Tool (UPSSettingTool.exe) をダブルクリックし、UPS 設定ユーティリティを起動します。



5. 「UPS 自動接続」をクリックします。



注意



上記警告が出て UPS に接続できない場合は、以下を確認してください。

- ① PC に UPS が接続されていない
PC と UPS が UPS 付属の USB ケーブルでしっかり接続されているか確認してください。
- ② 自動シャットダウンソフトが UPS を占有している可能性
PC に UPS 付属の自動シャットダウンソフトをインストールしている場合はこれを停止してください。

🔗 「自動シャットダウンソフトの停止」(P.14) 参照

6. 「UPS 型式」が正しいこと、「出力ロック状態」が「未解除」であることを確認します。

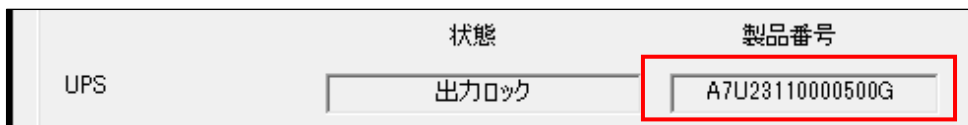


The screenshot shows the 'Omron UPS 設定ユーティリティ' (Omron UPS Setting Utility) window. It has several sections: 'UPS通信' (UPS Communication) with 'UPS自動接続' (UPS Auto Connect) and '通信ポート' (Communication Port) set to 'USB'; 'UPS型式' (UPS Model) set to 'BV100REM'; and '出力ロック' (Output Lock) with '出力ロック状態' (Output Lock Status) set to '未解除' (Not Released) and a red exclamation mark. There are buttons for 'ファイル読込' (Load File) and 'ファイル保存' (Save File).

注意

「出力ロック状態」が「解除」の場合は、既に解除済ですので本手順は不要です。
「終了」ボタンで UPS 設定ユーティリティを閉じ、作業を終了してください。

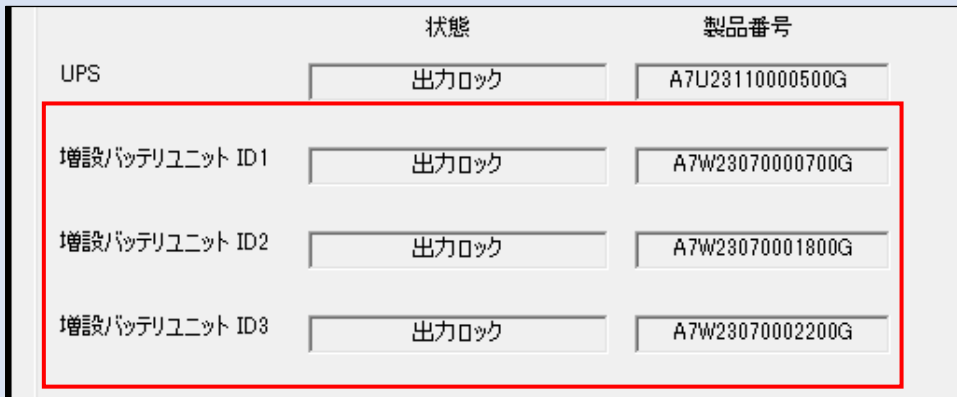
7. UPS の「製品番号」が表示されていることを確認します。



| | 状態 | 製品番号 |
|-----|-------|-----------------|
| UPS | 出力ロック | A7U23110000500G |

参考

増設バッテリーユニットを併用している場合は、増設バッテリーユニットの製品番号も表示されます。



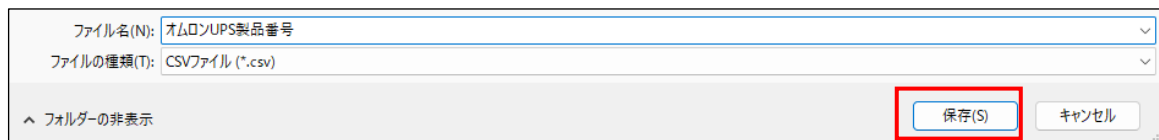
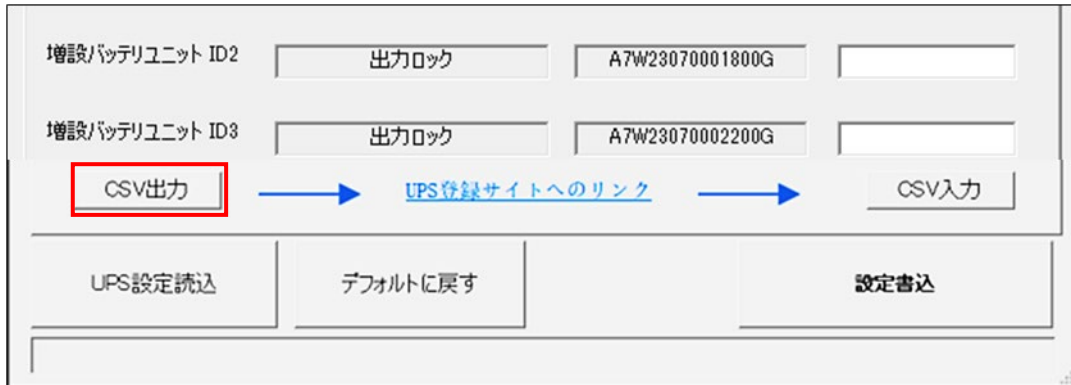
| | 状態 | 製品番号 |
|-----------------|-------|-----------------|
| UPS | 出力ロック | A7U23110000500G |
| 増設バッテリーユニット ID1 | 出力ロック | A7W23070000700G |
| 増設バッテリーユニット ID2 | 出力ロック | A7W23070001800G |
| 増設バッテリーユニット ID3 | 出力ロック | A7W23070002200G |

増設バッテリーユニットの製品番号は、以下の条件が揃うと表示されます。

- 増設バッテリーユニットが UPS に接続されている
- 複数台の場合は ID 設定がされている

8. 「CSV 出力」 ボタンをクリックし、製品番号を任意のファイル名で保存します。

CSV ファイル(製品番号)はキーコードを取得するために必要になります。

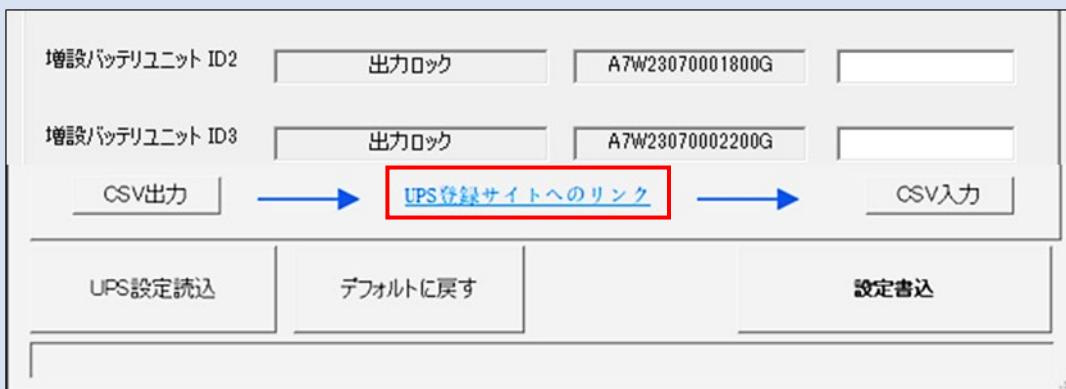


以上で製品番号の取得は完了です。「終了」 ボタンをクリックし UPS 設定ユーティリティを閉じてください。

参考

電源出力ロック解除用のキーコードは、当社「[UPS 登録サイト](#)」からダウンロードします。キーコードの取得方法につきましては「[2 キーコード発行手順](#)」をご参照ください。

また、UPS 登録サイトには、UPS 設定ユーティリティの「[UPS 登録サイトへのリンク](#)」からもアクセスできます。



付録

増設バッテリーユニットの接続と給電

UPS を商用電源に接続する前に、増設バッテリーユニットを接続します。

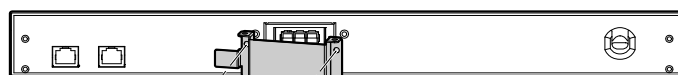
1. UPS 背面のバッテリー増設コネクタカバーを取り外します。増設バッテリーユニットを 2 台以上接続する場合は、中継になる増設バッテリーユニットのカバーも取り外します。

UPS 背面



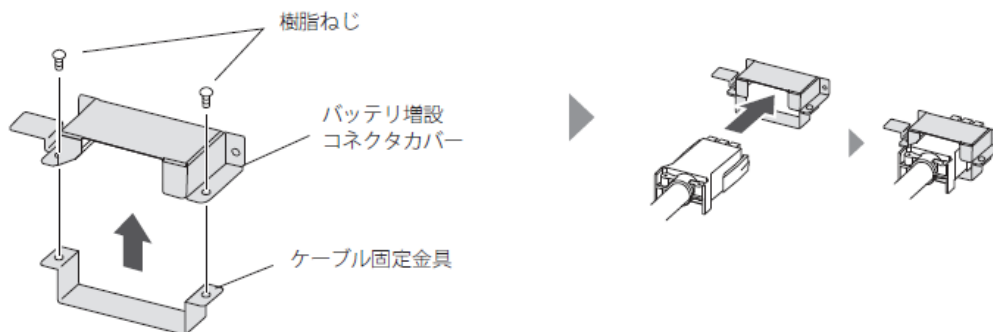
バッテリー増設コネクタカバー

増設バッテリーユニット背面



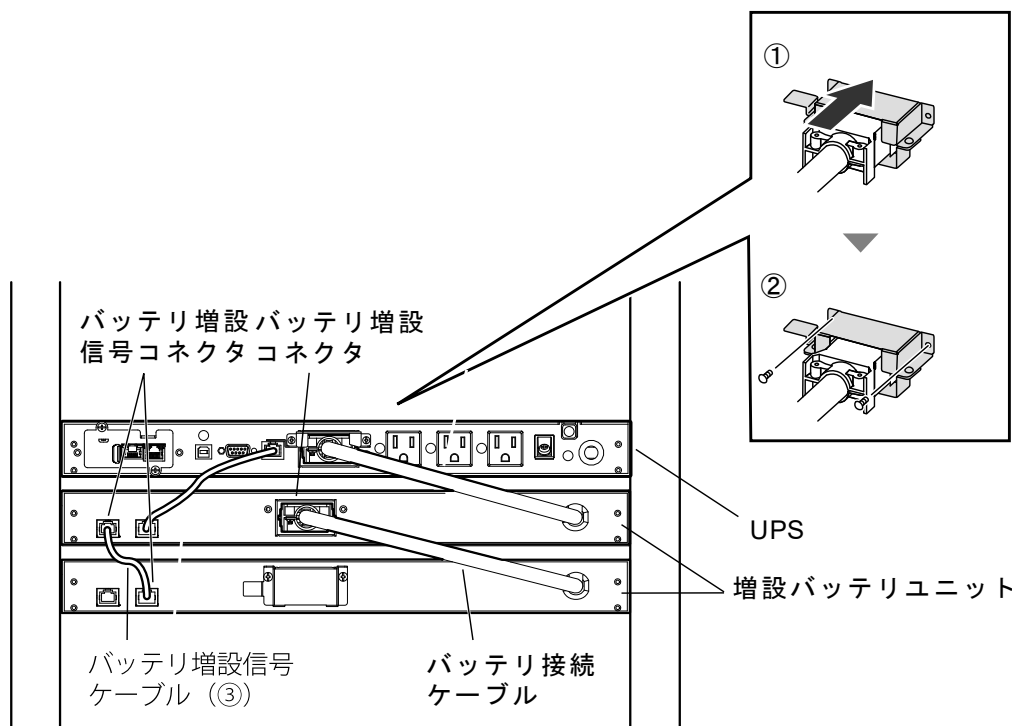
バッテリー増設コネクタカバー

2. 増設バッテリーユニットに付属しているケーブル固定金具を、手順 1 で外したバッテリー増設コネクタカバーに取り付け、増設バッテリーユニットから伸びているバッテリー接続ケーブルのコネクタを通します。



付録

3. バッテリー接続ケーブルを UPS のバッテリー増設コネクタに固定します。増設バッテリーユニットを 2 台以上使用する場合は、増設バッテリーユニット同士も同様に接続します。
- 1) 手順 2 でコネクタカバーを通したバッテリー接続ケーブルを UPS のバッテリー増設コネクタに接続（下図①）。
 - 2) 手順 1 で外したねじでケーブルを固定（②）。

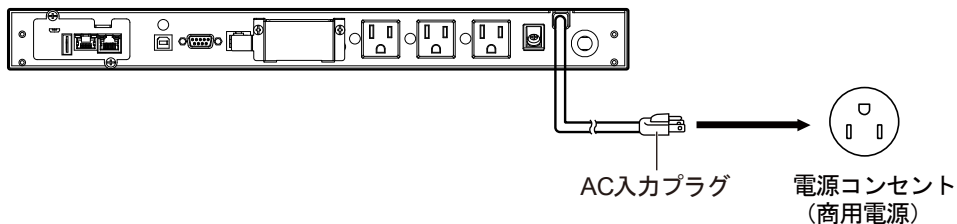


4. 増設バッテリーユニットに付属している「バッテリー増設信号ケーブル（上図③）」で増設バッテリーユニットと UPS を接続します。増設バッテリーユニットを 2 台以上使用する場合は、増設バッテリーユニット同士も同様に接続します。



付録







5. UPS の AC 入力プラグを電源コンセント（商用電源）に接続します。

例：BV100REM






参考

- UPS に電力が供給されると  が点滅（2 秒間隔）、 が点灯します。

| | | |
|---|---|---|
|  |  |  |
|  |  |  |

- 増設バッテリーユニットは「Status」が点滅（2 秒間隔）します。
ID1 / ID2 は ID 設定により点灯又は消灯しますが、工場出荷値は ID1 のみ点灯します。

<ID1 設定>

| ID1 | ID2 | Status |
|---|---|---|
|  |  |  |

- ※ ID2 設定：「ID2」のみ点灯
- ※ ID3 設定：「ID1」、「ID2」両方が点灯

以上で UPS と増設バッテリーユニットの接続、給電は完了です。

増設バッテリーユニットが 1 台の場合は、「2. 製品番号を確認する」(P.4) に戻ってください。

増設バッテリーユニットが 2 台以上の場合は、ID の変更が必要です。次ページの「増設バッテリーユニットの ID 設定」に進んでください。

付 録

増設バッテリーユニットの ID 設定

増設バッテリーユニットが 2 台以上の場合、ID が重複しますので、ID の変更をしてください。増設バッテリーユニットは最大 3 台まで接続可能で、ID は 1~3 で設定します。

注意

増設バッテリーユニットの ID 設定中に警告ブザー

本製品は ID 設定後（UPS と増設バッテリーユニットの通信確立後）に、ID を変更すると通信エラーの警告ブザー（2 秒間隔）が鳴ります。

例) 増設バッテリーユニットが 2 台の場合

UPS - ID1 - ID1 →工場出荷値のままだと ID1 が重複しているので通電しても通信は確立しない

→片側を ID2 に変更（UPS - ID1 - ID2 又は UPS - ID2 - ID1）して ID 重複を解除すると、通信が確立する

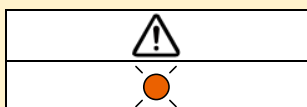
→UPS - ID2 - ID1 で通信確立した後に、ID を再変更（UPS - ID1 - ID1 や UPS - ID2 - ID3）すると通信エラーを検出

※条件が揃ってから通信確立まで 5 秒以下のタイムラグがあります。


※問題が発生してから通信エラーを検出するまでのタイムラグも 5 秒以下です。

■通信エラー時の LED 表示とブザー

UPS の警告 LED が点灯 / 2 秒間隔でブザー断続鳴動



■通信エラー時の対処方法

- ① UPS の  スイッチを 1 秒程度押し、指を離す（指を離すとブザーが止まります。）
- ② ID 設定を済ませる（ID の重複解除等）
- ③ UPS の AC 入力プラグを電源コンセントから抜き、UPS と増設バッテリーユニットの LED が消灯するまで待つ
- ④ UPS の AC 入力プラグを（商用電源）に接続する

※上記 ③ UPS の完全停止、④ UPS に給電、の流れが通信エラーLED 表示のリセット手順です。

付録

<増設バッテリーユニットのスイッチとLED>

● : 点灯 ● (with slash) : 点滅 ○ : 消灯



「ID」スイッチ 「メンテナンス」スイッチ

1. 増設バッテリーユニットのLED状態が「スタンバイモード」であることを確認します。

<スタンバイモード>

| ┌ID3┐ | | Status |
|----------------|-----|-------------------------|
| ID1 | ID2 | |
| ● (with slash) | ○ | ● (with slash) 2 秒間隔 |

2. ID スwitchを長押し（5 秒以上）し、「ID1」が早点滅（0.5 秒間隔）したら離して「ID 設定モード」に移行します。




<ID 設定モード>

| ┌ID3┐ | | Status |
|---------------------------|-----|-------------------------|
| ID1 | ID2 | |
| ● (with slash) 0.5 秒間隔 | ○ | ● (with slash) 2 秒間隔 |

付録




3. ID スイッチを押して、ID2 または ID3 に変更します。

ID1 : ID1 点滅

| ID3 | | Status |
|--|---|---|
| ID1 | ID2 | |
|  0.5 秒間隔 |  |  2 秒間隔 |






ID2 : ID2 点滅

| ID3 | | Status |
|---|--|---|
| ID1 | ID2 | |
|  |  0.5 秒間隔 |  2 秒間隔 |



ID3 : ID1 と ID2 両方点滅

| ID3 | | Status |
|--|--|---|
| ID1 | ID2 | |
|  0.5 秒間隔 |  0.5 秒間隔 |  2 秒間隔 |

- 5 秒以上ボタン操作が無いと ID が確定します。

以上で増設バッテリーユニットの ID 設定は完了です。

引き続き「2. 製品番号を確認する」(P.4) に戻って製品番号を取得してください。

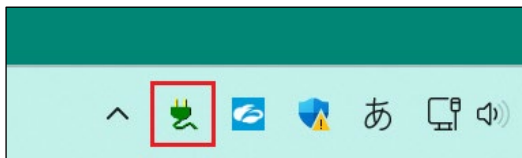


付録

自動シャットダウンソフトの停止

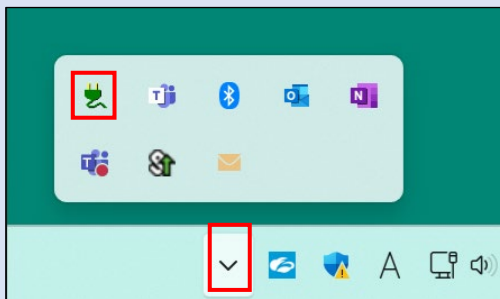
UPS と PC を USB ケーブルで接続しているが、UPS 設定ユーティリティで UPS が検出できないときは、自動シャットダウンソフトが UPS を占有している可能性があります。以下の手順で自動シャットダウンソフトのサービスを停止してください。

1. タスクトレイの自動シャットダウンソフトの常駐アイコンを確認します。



参考

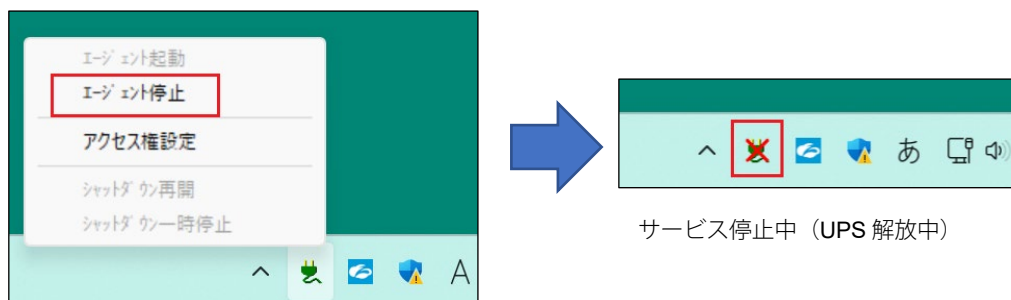
タスクトレイにアイコンが表と示されていない場合は、「^」をクリックしてアイコンを確認してください。



2. 常駐アイコンを右クリックし「エージェント停止」を選択します。

常駐アイコンに「×」がついたらサービスは停止していますので、P.5の手順5に戻ってください。

常駐アイコンの右クリックでメニューが出ない場合は次ページの手順3へ進んでください。



※自動シャットダウンソフト毎に表示されるメニュー内容は異なります。本例は PowerAct Pro です。

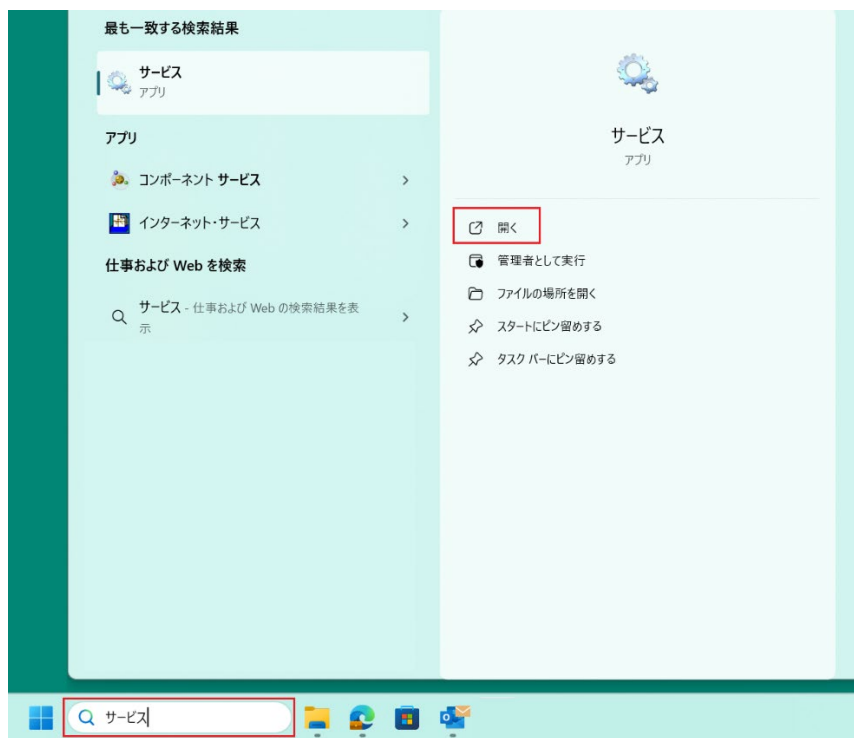
参考

自動シャットダウンソフトのサービスを開始するには…

「×がついた常駐アイコン」を右クリックし「エージェント起動」を選択します。常駐アイコンの「×」が消えればサービスは開始されています。

付録

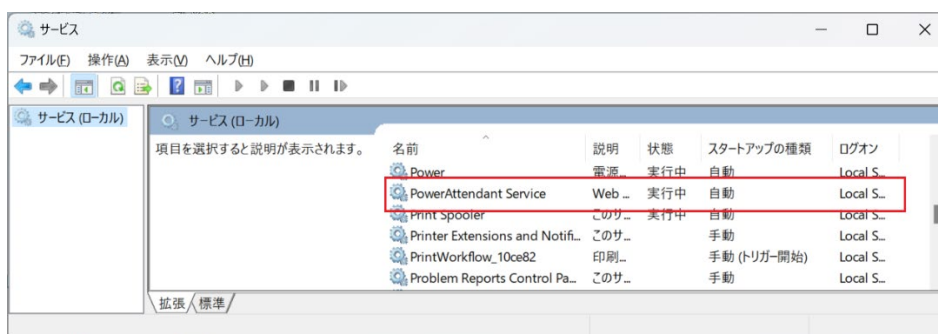
3. 検索バーで「サービス」を検索し、サービスを開きます。



参考

「スタート」を右クリック、「ファイル名を指定して実行」に「services.msc」と入力して、サービスを開く方法もあります。

4. 「PowerAttendant Service」をダブルクリックします。



付録

5. 「PowerAttendant Serviceのプロパティ」で「停止(T)」ボタンをクリックし、サービスを停止します。



参考

サービス停止後は、上記プロパティ画面で「開始(S)」ボタンをクリックするとサービスが開始されます。

以上で自動シャットダウンソフトの停止は完了です。

「PowerAttendant Service のプロパティ」、「サービス」を閉じて、P.5 の手順 5 に戻ってください。